

シリーズ
にらさきを元気にする人たち②

夢はなでしこ!!世界のピッチへ

— 韮崎なでしこプロジェクト —



太陽が照りつけるグラウンドで、汗まみれになってボールを追いかけている少女たちに問いかけてみた。なぜサッカーをやると思ったの？「男子がやっついていて面白そうだったから」、「なでしこジャパンの活躍がかっこよかったから」、「サッカーが好きだから」などなど…。彼女たち（まだ彼女と呼ぶには早過ぎる子もいるが、あえて彼女たちと表現させていただく）が日焼けした笑顔で話してくれた。

毎週日曜日の午前、中央公園のグラウンドでボールを追いかける彼女たちの大きな声が響きわたっている。みなさんは知っているだろうか？彼女たちのことを。

「**韮崎なでしこプロジェクト**、サッカーのまちにらさきから産声をあげた少年女子サッカーチームである。」

にらさきと言わずと知れた「サッカーのまち」を掲げた市であり、高校サッカーの名門韮崎高校に代表されるよう

に積極的にサッカーを地域資源として活用しまちづくりに取り組んできた市である。

しかし、女子ワールドカップで優勝を成し遂げた、なでしこジャパンの活躍以降、女子サッカーに対する世間の注目度が高まっているのに対し、本市にはサッカーへの憧れや興味を抱く少女のための受け皿となるサッカーチームがないという現状があった。

そのため、このような女子を応援し若い世代からサッカーを育成するためのプロジェクトが立ち上がった。

かくして平成25年8月ついに、「**韮崎なでしこプロジェクト**」は始動し、現在、小学4年から中学3年までの約20名が、練習に励んでいる。

普段はおとなしそつで、どこにでもいるような女の子



が、スパイクに履き替え、ピッチに立つとその顔つきはサッカー女子のいきいきとした顔に変わる。まだ発展途上の技術力ではあるが、その力強い表情からは彼女たちのサッカーにかける情熱がひしひしと伝わってきた。

練習はみっちり2時間、基礎から実践形式のゲームまで多様に組まれている。指導者のひとりである清水たけみコーチは「**まずは技術よりもサッカーを楽しむことが大事**」と話す。ときには厳しい指導もあるが、彼女たちは、常に笑顔を絶やさずボールを追いつけている。

いつの日にか、この中から、なでしこジャパン、そして世界のピッチへと立つ者がでることを期待してやまない。

(取材・記事・広報担当 歌田)